



「ピンチ」と「チャンス」

校長 熊木 崇

国内における新型コロナウイルスの感染は、以前に比べて減少傾向に転じてきているようですが、まだまだ予断を許さない状況であることは間違いないと思います。

緊急事態宣言の期限が延長され、5月31日まで休業となり、学校に登校できない状況が続くことは、子供たちの成長にとってまさしく「ピンチ」と捉えることができると思います。少しでも、生活リズムを崩さないように、また学習や運動に取り組めるように、学年ごとに課題を示し、提出も求めていきますので、引き続き、ご家庭におけるご協力をお願いし、ピンチを乗り越えていければと考えております。

一方で、休業が続く期間を自分の成長に生かす「チャンス」という考え方もできるかもしれません。忙しい日々の生活の中であまり考えることができなかつたことをじっくり考え、実行するチャンスと捉えるのはどうでしょう。「自分は何がしたいのか」「これまで時間がなくてできなかったことは何か」など、自分との対話を通して、じっくり考え、実行することもできると思います。中には、「まだ読んでいなかった本があったから読もう」という人もいるかもしれません。

休業期間における「ピンチ」を回避しつつ、「チャンス」と捉えて自分を成長させてほしいと思います。

新型コロナウイルス感染症が終息に向かい、一日も早く通常の生活に戻ることを願っております。

最新情報は、お台場学園ホームページをご覧ください。

URL : odaiba-ej.minato-tyky.ed.jp

健康に過ごすために

コロナウイルスの蔓延により休業が続いています。家庭での生活時間が長くなり運動する機会が減ったという話をよく耳にします。健康な生活を送るためには①適度な運動、②休養・睡眠、③栄養のある食事に気を付けて規則正しい1日の生活リズムを繰り返していくことが大切です。体を動かさないとお腹がすかず、食欲も出ません。また、遅い時間まで起きていると早く起きられずにどんどん生活のリズムが崩れていきます。知らず知らずに体力も落ちていきます。

外出の自粛で思うような生活ができずもやもやしている人も多いと思いますが、健康な体は自分で作るという気持ちをもって生活してほしいと思います。お家で簡単にできるストレッチの動画を配信メールにて紹介しました。ぜひ、挑戦してみましょう。

(小学校生活指導主任：植木 絵美・中学校生活指導主任：森 徹)

特別支援教室の通級及び学習支援員の配置の申し込みについて

小学校・中学校では、特別支援教室「そよかぜ教室」を開室しています。特別支援教室とは、生活面や学習面での困難を克服・改善するための指導を行うために設けられた教室です。また、通常の学級の教室内での一斉指導において、苦手な部分を補うために、個別的に支援を行う学習支援員を配置しております。

現在、これらの支援を受けておらず、今後、特別支援教室の通級あるいは、学習支援員の配置を希望される保護者の方は5月24日(月)までに、担任、特別支援教育コーディネーター鈴木(裕)、または副校長にご相談ください。